

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2004-361177
起案日	平成 22 年 10 月 18 日
特許庁審査官	佐藤 秀之 3925 3000
特許出願人代理人	内藤 浩樹 (外 2 名) 様
適用条文	第 29 条第 1 項、第 29 条第 2 項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から 60 日以内に意見書を提出してください。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第 29 条第 1 項第 3 号に該当し、特許を受けることができない。

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

<理由 1-2 について>

- ・請求項 1-2
- ・引用文献 1
- ・備考

引用文献 1 には、ピストンの上下外周面に、ピストン軸芯と平行線を形成しない面取り部、つまり溝部が形成されている構成が開示されている。

<理由 2 について>

- ・請求項 3, 5
- ・引用文献 1
- ・備考

面取り深さが400 μ m程度であることは、周知の事項であるし、引用文献1のようなピストン圧縮機の冷媒に炭化水素系冷媒が使用されていることも、周知の事項である。

<拒絶の理由を発見しない請求項>

請求項(4)に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。
拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2003-65236号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C F 0 4 B 3 9 / 0 0
- ・先行技術文献 特になし

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではありません。

なお、補正を行う場合は、新規事項の追加とならないよう十分留意し、可能であれば、意見書において、補正の根拠をご説明下さい。

また、請求項を補正する際には、発明の詳細な説明の項における実施例（実施の形態）の記載との整合性についても留意し、請求項に係る発明の実施例ではないものを「実施例」として記載しないように注意してください。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第二部 自動制御 佐藤秀之

TEL. 03(3581)1101 内線3356

FAX. 03(3501)0671